

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	令和3年度第1回 所沢市地域公共交通協議会
開 催 日 時	令和3年5月28日(金) 午前9時30分から午前10時45分まで
開 催 場 所	市庁舎 3階 全員協議会室
出 席 者 の 氏 名	武熊 雅郎、柴田 志津子、大石 京、鈴木 由紀子、 横溝 哲夫、玉津島 一誠、齊原 潤、榎本 聡(代理:浜口 弘) 山内 智矢、関根 肇、加藤 和伸、藤田 貢、尾崎 晴男、 清家 裕之、島田 真、伊藤 太佳博、秋山 泰輝、肥沼 宏至、 川上 一人、鈴木 明彦、埜澤 好美、小河 憲司、黛 浩一郎
欠 席 者 の 氏 名	本多 美佐保
議 題	(1) 所沢市地域公共交通協議会について (2) 所沢市地域公共交通計画の策定について (3) その他
会 議 資 料	・ 次第 ・ 資料1 所沢市地域公共交通協議会について ・ 資料2 所沢市地域公共交通計画の策定について ・ 所沢市地域公共交通協議会条例 ・ 委員名簿 ・ 諮問書の写し ・ (参考資料) 朝霞市地域公共交通計画 概要版
担 当 部 課 名	藤本市長 街づくり計画部: 畑中次長、佐藤参事 都市計画課: 高野課長、板垣室長、小暮主査、秋葉主査、 盛清主査、杉本主任 【事務局】: 街づくり計画部 都市計画課 電話 04-2998-9192

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
都市計画課	<p>1 開会</p> <p>2 市長あいさつ</p> <p>3 委員紹介</p> <p>4 会長・副会長の選出 委員の互選により会長は尾崎晴男委員、副会長は黛浩一郎委員にそれぞれ決定した。</p> <p>5 諮問 「所沢市地域公共交通計画の策定について」 藤本市長から尾崎会長へ、諮問書を引き渡し</p> <p>（以下、尾崎会長が議長となり進行）</p> <p>6 議事</p> <p>（1）所沢市地域公共交通協議会について</p>
事務局	※資料1をもとに、所沢市地域公共交通協議会について説明
議長	意見、質問はあるか。
委員	なし
事務局	<p>（2）所沢市地域公共交通計画の策定について</p> <p>※資料2及び参考資料（朝霞市地域公共交通計画 概要版）をもとに、所沢市地域公共交通計画の目的、内容、及び策定に向けた今後の予定などについて説明</p>
議長	意見、質問はあるか。
委員	今回の地域公共交通計画の対象に、ところワゴンは含まれるのか。
事務局	ワゴンを含め検討を進める。柳瀬・富岡地区については、昨年度から検討を進めていることから、引き続き運行開始に向けて準備を進めていく。将来的なコースの見直し等については、地域公共交通計画の中で検討する。

委員	朝霞市では、タクシー、福祉送迎バス、シェアサイクル等も対象となっているが、所沢市の計画もこれらを含めたものとなるのか。
事務局	既存の公共交通の状況を踏まえ、新たな公共交通が必要と考えられる場合には、それらを含めて検討を進めていくことになる。
議長	朝霞市で挙げられている交通手段については、所沢市の地域公共交通計画でも考えられると認識しており、対象とするかどうかはこれからの議論となると思われる。
委員	これまで地域公共交通会議に参加した中で、目に見える動きがなかったが、三ヶ島地区にワゴンが導入されたことは、非常に有意義だったと思う。所沢駅周辺には西武（鉄道・バス）しか走っていない。近くに武蔵野線は走っているが、西武鉄道の駅ではJRの切符が買えない。また、西武線から武蔵野線への乗り入れがなく、大宮を経由して新幹線に乗る時など、不自由である。今後はJRに対しても一歩踏み込んで考えてほしい。
事務局	計画の目標として「地域にとって望ましい旅客運送サービスの姿」を明らかにするとあることから、サービス（利便性）向上に向けた検討もできる。いただいたご意見は課題の一つと考えられる。
委員	鉄道、バスだけでなく、タクシーを含めて考えてほしい。
事務局	タクシーについては、重要な公共交通の一つであることから、今後の計画策定の中で、タクシーを含めて検討する。
委員	市長から、令和5年度以降の、5年後、10年後を見据えた計画を策定するとの話があったが、一方で、当面の課題として、令和4年度以降に動き出すものもあり、どこを焦点に議論をすればよいのかを整理する必要がある。公共交通については、どのように利便性を確保していくのかを検討するため、例えば柳瀬、富岡地区でどのような年齢構成となっているか、何に対して不便を感じているかなど、根拠のある資料の提示を求めたい。
事務局	計画策定にあたり、分かりやすい資料の作成を心がけたい。いただいた意見を参考に検討する。

委員	今後のあるべき姿を見据えて検討してほしい。
事務局	都市計画マスタープランや、市長から話のあった「夢のあるまち」を心掛けながら、検討を進めていきたい。
委員	4月から三ヶ島地区にワゴンが導入され、何度か利用している。導入にあたり3年前から地元の区長と検討を重ね、アンケートで様々な意見を聞きながら、運行開始に至った。地域には路線バスが1時間に1本も走っていない中、ワゴンが1時間に1本走るようになった。地域の中でも利用促進に向けて取り組んでおり、福祉部会にも積極的に動いてもらっているが、現在の利用率がどのくらいかを知りたい。それをもって今後の対策を考えたい。
事務局	利用者数となるが、4月は2コースを合わせてちょうど1,000人だった。5月の利用者数については、少し増えているとの話を聞いている。なお、車いすの利用については、4月はなかったとのことである。今後、市としても周知に努め、利用者を増やしていきたいと考えているので、地元の方にもご協力をお願いしたい。
議長	今後、計画策定に係るコンサルタント会社との契約を行う中で、今年度は課題の抽出を中心に進めていくとのことである。その経過について、次回以降の協議会で報告する。併せて、4月に運行を開始したところワゴンやところバスを含め、利用状況（データ）を報告するというのでよいか。
委員	(一同承認)
委員	地域公共交通計画に強制力はあるか。
事務局	地域公共交通計画は地域公共交通のマスタープランということで、規制があるものではなく、目標を定めて取り組みを進めるものである。目標の実現に向けて、今後、実施計画を策定することも検討する。
委員	所沢市は広いので、市全体の方向性を示しても、漠然として市民にとって分かりにくいものとなるのではないかと。市民に協力してもら

事務局	<p>うことを記載する必要がある。また、比較対象としては、同規模の中核市などの自治体の計画を提示してほしい。</p> <p>所沢市内においても様々な地域性があり、例えば、中心市街地については、比較的利便性が高くなっている一方で、周辺の地域では交通網が不十分である。これらの地域の特徴を踏まえ、都市計画マスタープランでも公共交通がどうあるべきかという部分について、大まかな方針は示している。地域公共交通計画の中では、その部分をさらに掘り下げて方針を示すとともに、朝霞市でも数値目標を8項目掲げているように、交通事業者にご理解、ご協力いただき、目標値を分かりやすく示しながら、その達成に向け進めていくことになる。</p>
議長	<p>周辺の中核市では、作成している自治体はないようである。委員が今おっしゃった内容は事務局に伝わっていると思われる。計画については、今後、ご意見等があれば事務局に連絡願いたい。</p> <p>(3) その他について何かあるか。</p>
事務局	<p>次回の会議は7月中を予定している。</p>
議長	<p>以上で議事を終了する。</p>
事務局	<p>令和3年度第1回所沢市地域公共交通協議会を終了する。</p> <p>閉会</p>